

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 中山梅寿会

【施設部門】

- ・指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園
- ・指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・短期入所生活介護・介護予防事業所 野中

【ケアハウス部門】

- ・ケアハウス なかやま幸梅園

【調理部門】

- ・なかやま幸梅園 厨房

【デイサービス部門】

- ・指定通所介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・指定通所介護・介護予防事業所 佐礼谷
- ・指定通所介護・介護予防事業所 野中

【在宅部門】

- ・指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園
- ・在宅介護支援センター なかやま幸梅園

【訪問介護部門】

- ・指定訪問介護事業所 なかやま幸梅園

【障がい部門】

- ・地域活動支援センター くりのみ
- ・指定相談支援事業所 くりのみ

【看護部門】

【基本理念】

日本一あったかいホームを目指します

【基本方針】

1 個人の尊厳

一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊重しかけがえのない存在として大切にします

2 信頼性、安全性、安心感の確保

職員自らの専門的役割を自覚し、資質の向上を図ることによりサービスを充実し、信頼性を高めるとともに利用者の安全を守り安心して暮らすことができる環境の確保に努めます

3 地域との連携

地域との交流、連携を通じ、地域福祉の拠点として共に支えあう社会の構築を目指します

【心構え】

- ・あいさつをしよう
- ・思いやりの気持ちをしっかり持とう
- ・入居者、利用者への言葉遣いに気をつけよう
- ・自分の価値観を押し付けないようにしよう
- ・中山梅寿会職員として責任ある行動をとろう

【運営方針】

1 個別援助

- ① 基本的な生活にかかせない3大介護「食事」・「排泄」・「入浴」において、個別ケアに取り組み、当たり前の生活と一人ひとりの生活習慣を大切にした支援を行う。
- ② 利用者の心身状況及び生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び家族の希望に沿った安心できるサービスを提供する。

2 機能訓練

- ① 利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。
- ② 利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

3 健康管理

- ① 利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。
- ② 感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

4 医療的サポート

- ① 利用者の健康に対する不安を取り除き、安心して過ごせるよう、看護・介護が一体となって、本人及び家族、医療機関等と連携を図り、健康管理を行う。

5 環境整備

- ① 生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

6 リスク管理

- ① 利用者が安全に過ごせるよう事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

7 防災対策

- ① 火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

8 職員教育と連携

- ① 質の高いサービスを提供するために、自己のスキルアップに努め、資質の向上を図る。
- ② 医療と介護の継ぎ目のないサービスを効果的に利用できるような観点から、入院時や退院・退所時に病院等と連絡を取り合い、利用者に関する情報共有を行う。また、障がい福祉サービスの利用者が、介護保険に移行する時やその後も家族を含めた適切なケアプランが作成できるように、障がい福祉制度の相談支援専門員との連携に努める。

9 地域交流

- ① 地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

10 地域貢献

- ① 関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。
- ② 地域の一員である自覚を持ち、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域福祉（障害）の拠点として開かれた施設を目指す。
- ③ 日頃から地域との関係作りに努め、民生委員、高齢者見守り委員、地域住民との交流を持ち、各事業所が協力しながら地域貢献を行う。

【法人目標】

1. コンプライアンスの徹底を図り、健全な社会福祉法人を継続する。
2. 利用者に対し人権尊重を基本に、サービスの質の向上を図る。
3. 身体拘束ゼロ運動の促進、リスクマネジメント等に積極的に取り組み、利用者また家族との信頼関係の強化を図り、処遇の向上に努める。
4. 各事業所でのサービス利用者の満足度を高めるために、新たな取り組みを検討し利用者確保・継続に繋げ、経営の安定を図る。
5. 感染症法上の分類変更（二類→五類）となる新型コロナウイルスとうまく共存しながら、新たなサービスを提案・提供する。さらに地域住民との交流、外出行事等も再開に向けて対応していく。
6. 地域の旬な情報を収集し、行政と連携を図り地域福祉の推進及び公益的な取り組みを行う。
7. BCP 計画の立案において、地域各種組織との連携強化を図り、各事業所の災害・防犯対策を強化する。
8. 将来的な経営資源(ヒト・モノ・カネ)を把握して収支の良化を図る。
9. 老朽化設備の整備を計画的に実施していく。

【部門別目標及び事業所別 年度取り組み】

施設部門

【特養目標】 利用者の笑顔あふれる施設づくり

指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園 （定員：30名）

- ① 入居率 99%以上の達成
- ② 個別ケアの機能強化に向けて、定期的なアセスメント及び、プラン実施状況の確認、モニタリング（評価）を踏まえての計画の見直し等、PDCAに沿ったサービス提供を行うと共に、不適切ケアの解消に向けて、具体的な対策に取り組む。
- ③ 昨年度、導入したタブレット端末を中心としたIT化を更に推進し、業務省力化、効率化及び、コスト削減を目指すと共に、蓄積データの有効活用に繋げる。
- ④ 入居者全体の重度化や容態の急変等、医療ニーズの多様化に対する日常的な医療的管理体制を構築すると共に、ターミナル期での「介護・医療」の更なる連携強化を図る。

【短期入所共通目標】 在宅生活維持に向けた適切なサービス提供

- ✧ 利用者一人ひとりが安心して在宅生活が継続できるようサービスを提供する。
- ✧ 心身状態や介護方法等の情報を共有し、希望に沿ったサービス提供に繋げる。
- ✧ 医療依存度の高い利用者への適切なサービス提供体制の構築を図る。
- ✧ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。

指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園 （定員：10名）

- ① 稼働率目標 88%
- ② 居宅サービス計画を基本とし、日常生活の様子や健康状態を観察しながら、生活課題に対するケアを中心に生活機能の維持、向上に繋がるサービスを提供する。
- ③ 体調が不安定な状態やターミナル期等の利用希望に対し、主治医等と連携して柔軟な受け入れ体制を維持すると共に、災害発生時等には地域の福祉施設としての機能の推進を図る。

基準該当短期入所生活介護・介護予防事業所 野中 （定員：6名）

- ① 稼働率の目標 80%
- ② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。
- ③ 慣れた環境で安心して生活ができるよう、併設している通所介護事業所と一体的にサービスを提供する。

ケアハウス部門

【ケアハウス目標】 ケアハウスでの自立生活支援強化

- ✧ ケアハウスでの自立生活が営めるよう、定期的に関係機関と連携を図り、自立支援に向けた体制づくりに努める。必要に応じて各種福祉サービス等を導入し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援を行う。
- ✧ 入居者の状態及び状況を確認し、体調変化等の早期発見と対応を図る。

ケアハウス なかやま幸梅園 （定員：15名）

- ① 入居率95%以上の達成
- ② 定期的に関係機関への連絡を行い、入居希望者の状態、状況等の把握に努め、空室が生じた際には速やかに入居ができるよう対応する。
- ③ 定期的健康観察を行い、体調の安定に繋げると共に、服薬管理が必要な利用者については、適切に服薬できるよう支援を行う。
- ④ コロナ禍においても、その人らしい生活の実現に向けて柔軟に対応し、ストレスの緩和、生きがいに繋がる支援を行う。

調理部門

【厨房目標】 喜びのある美味しい食事の提供と栄養ケアマネジメントの実施

- ✧ 行事食・イベント食を計画的に実施、充実を図る。
- ✧ 入居者一人ひとりの状態や課題を把握すると共に他職種とも連携して、個別のケアプランに基づいた栄養ケアマネジメントの実践及び、評価を定期的に行う。

総合福祉施設 なかやま幸梅園 厨房

- ① 地元で親しまれている食材や旬のものを基本として行事食やおやつメニューの開発など、利用者個々に食べる喜びやQOLの維持向上に繋がる食事内容全般の工夫に取り組む。
- ② 厨房会を定期的開催し、より良い食事の提供ができるよう、食事委員会とも連携し、嗜好調査結果等も含めての意見交換やその他、食事に関する連絡調整を行う。
- ③ 災害発生等、緊急時に備えて、災害等、緊急対応マニュアルに沿った備蓄品の確保及び、消費期限のチェック等、適切に在庫管理を実施する。
- ④ 大型調理関連機器等については引き続き、専門業者と連携して日常的なメンテナンスを実施し、安全・適切に使用すると共に、経年劣化等を踏まえての計画的な更新準備を進める。

デイサービス部門

【デイ共通目標】身体機能の維持・改善、利用者の笑顔あふれるデイサービスへ

- ◇ 利用者一人ひとりの特性等に合わせたサービスの提供をする。
- ◇ 地域住民との交流を図り、地域との「なじみの関係」を築いていく。
- ◇ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。
- ◇ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

指定通所介護事業所・介護予防事業所 幸梅園 （定員：30名）

- ① 利用者数の目標 延べ520人／月（平均19.9人 稼働率66%）稼働日312日
- ② 利用者個々に応じた機能訓練や園芸など、目的や希望に添ったサービスを提供する。
- ③ 調理や外出行事等、季節を感じられるレクリエーションを増やし、魅力ある事業所にする
ことで、新規や追加利用の獲得に繋げる。

地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 佐礼谷 （定員：18名）

- ① 利用者数の目標 延べ300人／月（平均11.5人 稼働率63%）稼働日312日
- ② 地域の医療機関と連携を図り、可能な限り在宅での生活が継続できるよう支援する。
- ③ 生きがいのある生活が送れるよう、個々の趣味や能力に応じた活動を提供する。

地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 野中 （定員：16名）

- ① 利用者数の目標 延べ250人／月（平均8.2人 稼働率51%）稼働日365日
- ② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に
繋げる。
- ③ 地域住民との関わりを多く持ち「なじみの関係」を築く。また、広報誌等により活動報告
をすることで、事業所への理解を深めてもらえるよう、情報の発信をする。

在宅部門

【居宅目標】居宅サービス計画の充実

- ✧ 利用者・家族が住み慣れた自宅で安心して生活できるようなケアプランを作成する。
- ✧ 達成度を毎月評価し、計画見直しが必要な場合には担当者会議へ繋げる。

指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園

- ① 課題分析を充実しケアプランに反映させる。
- ② 災害時にも活用できるようにアセスメント票を充実させる。

【在支目標】相談窓口と地域支援の充実

- ✧ 伊予市地域包括支援センターの窓口機関の委託を受け、中山町において支援を必要とする高齢者及び家族などの相談に対応し、必要に応じて関係機関との連絡調整や適切なサービスに繋げる等の支援を行う。
- ✧ 地域ケア会議、一般介護予防、家族介護教室、認知症相談、高齢者配食サービス事業、自主事業「がんばる会」などの支援及び実施する。

在宅介護支援センター なかやま幸梅園

- ① 昨年度に引き続き、第6回中山町健康調査が円滑に実施できるよう、関係機関と連携を取りながらサポートを行う。また、調査中に対応が必要なケースがあった場合は、受診やサービス利用の相談に繋げる
- ② 感染症の状況を見ながら、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。また、地域の課題解決・支援体制の整備に向けて地域住民と連携を取りながら検討する。
- ③ 利用者が減少しているため、引き続きがんばる会の新規利用者増に繋がるよう周知活動を行う。また、今後の在り方についても模索する。

訪問介護部門

【訪問介護目標】利用者の笑顔あふれる訪問介護へ

- ✧ 利用者の立場に立った適切なサービスを提供する。
- ✧ 住み慣れた家で自分らしく安心して生活ができるよう、個々のニーズの把握に努める。

指定訪問介護事業所 なかやま幸梅園

- ① 利用者数の目標 延べ270人/月（平均9人）稼働日365日
- ② ヒヤリハット、事故発生時等の原因の検証、再発防止策の策定並びにスタッフ間での情報共有に努める。
- ③ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

障がい部門

【くりのみ目標】 障害福祉サービスの充実

- ◇ 地域活動支援センターとして、基礎的事業と強化事業を通じた社会参加の機会と居場所として機能を担う。また、交流会やバザーを通じた住民との交流や事業の啓発、地域貢献をする。
- ◇ 一般相談、障害児相談支援、特定相談、地域移行、地域定着等の提供。ライフステージに合わせ、その人の希望する生活に近づく必要なサービスの提供や制度の利用支援を行う。
- ◇ 伊予市障がい者計画・伊予市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の推進に寄与する。

地域活動支援センター くりのみ

- ① 新規利用者 1 名の確保と年間利用者数 2,450 人を越えるように支援等を考える。また、75 歳を迎える登録者には、特に誤嚥や転倒に気をつけながら、最終日を迎えることができるよう支援する。
- ② 1 月～5 月に新規作業の継続と 6 月～12 月の期間で余暇支援や新規作業の実施。
- ③ 近隣の買い物支援、外出支援、バザー等の交流会への参加。

指定相談支援事業所 くりのみ

- ① 制度改正による運営に必要なマニュアルの見直しと令和 5 年度からの制度改正に対応した事業を実施する。
- ② 個々の要支援者を取り巻く生活環境・資源の情報収集を行い、福祉サービス以外の支援方法も考える。
- ③ 障がい児（幼児期から学齢期への発達支援の理解）と障がい者への就労支援に関する研修に参加し、事業所の支援について知識を深める。

看護部門

【看護目標】 健康観察と医療支援の充実

法人全体看護

- ① 入居者に必要な医療支援が提供できるよう、日常的な健康観察を行うと共に、日々の小さな変化を見逃さず、異常を早期に発見する。また、異常時には、嘱託医に報告・相談し、速やかに適切な治療が開始できるよう家族を含めての支援を行う。
- ② ショートステイ・デイサービス等、利用者には、家族・担当介護支援専門員等と連携しながら、安心してサービスを利用できるよう支援を行う。また、緊急時には家族、主治医と連携して、スムーズに対応する。
- ③ 職員及び、その家族も含めた健康管理、感染対策に関する助言等の支援を行うことにより、健康で安定的な就業環境の構築に繋げる。
- ④ 感染症等に関する情報収集と共有、並びに関係機関との連携をスムーズに行うことにより利用者、職員等を支援する。
- ⑤ 服薬管理を徹底し、疾病の悪化予防及び医療面でのサポート等を行う。